

- 信頼されるための愛の実践
 - ・常務理事挨拶
- 聖母園グループホーム
 - ・『東北との繋がり』できることをしよう！
- デイサービスだより
 - ・旅路の荘
 - ・カトレア荘
 - ・いぶきの家
- 養護老人ホーム聖母園
 - ・胸躍る春 さらなる充実を求めて
- 海の星保育園通信
- 特別養護老人ホーム聖母園
 - ・元気な聖母園
 - ・第三回 特養家族会
- 日本財団様 助成事業の完了報告
- 希望の丘 機能訓練士
- 明日への福祉
- 聖母園俳句会
 - ・橋本幸子 選
- 活動あれこれ
 - ・聖母園グループホーム マルタの会



第95号

発行 希望の丘
 発行年月日 2014年4月15日
 印刷 聖母の騎士社



海の星保育園 西側に咲く八重桜

信頼されるための 愛の実践



社会福祉法人希望の丘
常務理事 萩原アサエ



3月の声を聴くと土の動きと共に

植物は芽吹き、待ちに待った春の訪れ、梅や桃、さくらと数々の花が開く自然の豊かな営みに包まれながら平和の裡に新年度を迎える事が出来ました。

介護保険制度改正がなされ、平成27年度から施行される地域包括ケアシステム構築に向けて「住み慣れた自宅や地域で暮らし続けられるように、医療、介護、介護予防、生活支援、住い、のサービスを一体的に受けられる支援体制」の確立が求められ、これは、「子ども・子育て支援新制度」を含む地域の連携がカギとなる事業ですが、変わりゆく制度に対応できる職員の育成と共に事業の円滑な運

営が求められます。

今年度も大きな夢と希望を持った新任職員を迎え、一人一人が保有する資格と技術を生かし、じぶんの能力を十分に発揮できるように研修体制、福利厚生の実を図りたいと思います。さらに法人の期待する福祉従事者として、やる気と希望、専門職としての自信と誇りを持つ職員として、また一人の人間としての価値を高め、働き甲斐のある職場の実現のために、今年の目標である「信頼される」ための愛の実践に努めて参ります。過ぎし1年を振り返ると、日本だけでなく世界中で起きている甚大な自然災害の枠の広がりを感じます。そして一見自然災害にみえ

るものも突き詰めてみると、傲慢で安寧な暮らしを求め続ける人類の自然破壊に端を発した人災でもあるような気がしてなりません。壮大な力になす術もなく、喘ぎ苦しむ人々の姿、無残さに心を痛めながら、自然界に生きる人間が如何に小さく無力なものであるか気づかされずにはいられません。明日が来るのは当たり前でなくなつた昨今、今日一日に感謝し、明日が無事に来る事を謙虚さの中で折り、人の命の尊さに思いを馳せる年でありました。

この希望の丘全事業体は、地域の方々から何時も沢山のご支援を賜り、感謝の日々を送らせていただいています。多くの方々からの温かなご支援に対し、日々関わる全ての人の幸せの為、職員一丸となって真心を尽し、正直に愛を持ってこの福祉事業に携わらせていただく事が御恩返しでないかと思っております。悔いのない明日の為に。この1年もお互いが信頼し合える年であります様に心から祈り、新制度への移行ができるよう励んでまいります。

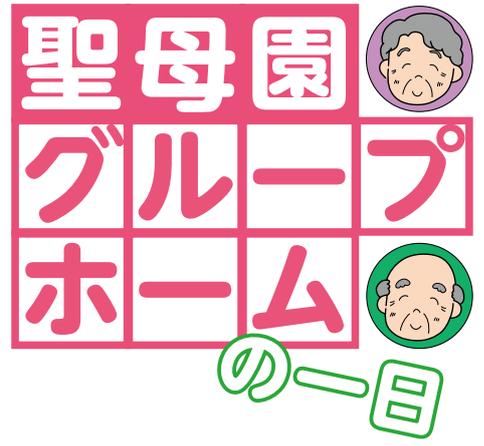




おいしくなあれ!

東日本大震災から、3度目の春を迎えました。震災後も

『東北との繋がり』
『できることをしよう!』



の一目

台風、寒波、豪雪による自然災害の報道を見る度、胸が痛む思いです。

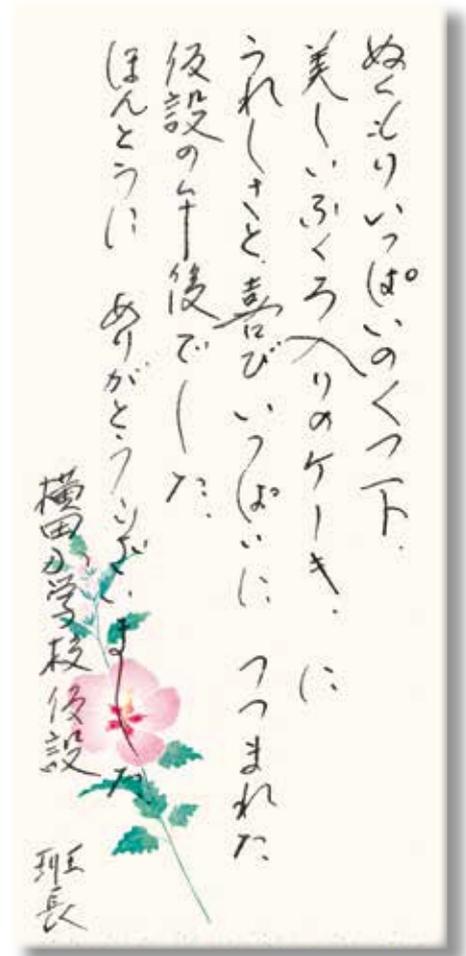
聖母園グループホームでは、何か少しでも東北の方の力になることがあればと思い、平成24年9月に、グループホームで作った梅干しを陸前高田の仮設住宅に送らせて頂きました。

それからは、年に3回程、さつま芋、クリスマスのお菓子、靴下、バレンタインのチョコ等、季節に応じた品物を利用者と共に作り、手紙と一緒に届けています。今年は3月に、かるかんとマドレーヌ、パズルを届けました。いつも、東北の復興を願い、気持ちを込めながら作っています。

陸前高田からは、温かい御礼の電話とたくさんのお手紙を毎回頂いています。仮設の皆様



ぬくもりいっぱい、靴下で寒い冬をしのげますように……温かい春が迎えられるように……。そして、早く東北が復興し、皆様が安心した生活を送れますように。



とは、2年半の交流が続いていますが、東北の方からは、優しい言葉と共に、私達の方が元気を戴いていると感じます。

今もなお多くの方が、普段の日常を取り戻せず、過酷な現状の中、毎日を懸命に過ごされている事を、私達は、決して忘れてはいけないと思います。温暖な気候の九州での暮らし。大事な物に囲まれての普段の生活の継続に対して常に感謝の気持ちを忘れず過ごしたいものです。

そしてグループホームでは、これからも私達に出来る事を常に考え、東北の方との繋がりを大切に、一日も早い復興を祈り、今出来る事を継続していきたいと思えます。

(原)

デイサービスだより



デイサービスセンター
旅路の荘では、
個別機能訓練を
実施していきます。

旅路の荘



昨年、100歳を迎えました。
いつまでも、自宅での玄関の
昇り降りが出来るように、
頑張ってます。



転ばんごつ！
頑張ろう！



今日は、本郷まで10分間
運動しますよ！



専従の機能訓練指導員（理学療法士・看護師）が、ご希望されるご利用者の心身の状態やご希望に基づき、介護職員や担当ケアマネジャーと連携を取りながら機能訓練計画を作成し、機能訓練を実施していきます。



笑顔あふれる機能訓練で元気になりたい方は、
ご遠慮なくお電話ください。☎0942-77-3776

旅路の荘の電話番号は
世界遺産の富士山の
標高と同じなんです！

可
知
識

カトリア荘



カトリア荘の周りには、しだれ梅やソメイヨシノといった木々があります。春の陽気に誘われて、みんなで花見を行いました。



模造紙に和紙や色紙で作った花びらをたくさん貼りました。カトリア荘の玄関に展示しています。皆様のお越しを心よりお待ちしております！

カトリア荘は、私たち3人で運動や創作活動、レク活動を通して皆様が1日楽しんで頂ける環境を提供します。
(御厨)



今後ともよろしく
お願いします！



今回も「カトリア荘」での「コマ」をご紹介します！



今・上高橋・春日・甲条地区の皆様

いぶぎの家では、気候の良い春に力を入れて運動に取り組んでいます。今年も「桜の花を見ながら気分転換と、散策で足の力を弱らせない」という目的で桜見学に行きました。大刀洗町は桜の木が多く、運動公園・大刀洗公園・大堰神社・中川の土手・本郷の堤の周り……。数えあげれば、いくらでも名所があります。そんな大刀洗の町中を巡

いぶぎの家



東本郷・西本郷地区の皆様

りながら甘木の丸山公園まで出かけました。
今年の桜は、急に暖かい日が続き、一気に満開になった木々が多く、どの枝も花びらいっぱい見事な桜を見ることができました。「今年もほんと良か時期に見れて美しか」と口々に言いながら散策を楽しみました。「私、足が痛か」「私は膝が痛い」と言っている方々も、花見などの外出は楽しみにされている様子で、散策も意気揚々と歩いている姿を頼もしく感じます。今年度も「楽しく幸せに過ごす」を目標にお手伝いをさせて頂きます。よろしくお願ひします。

(中島)

胸躍る春 さらなる 充実を求めて



養護老人ホーム 聖母園

皆様こんにちは、養護老人ホームです。日一日と暖かくなり、気持ちのいい陽気です。利用者の方からも、「春になるとなんかうきうきする」、「暖かくなってきて着物がうすくなり、体もよく動く」などといった言葉が聞かれます。聖母園としても、今年度はさらに昨年にはなかった行事・活動を企画し、昨年とはまた違った充実感を感じることができるように取り組んでいきたいと思えます。

新しい活動といえば昨年の10月より地域の道路清掃活動を始めました。この活動は、利用者・職員で地域の為に何かできることはないだろうかとの考えから始まりました。何か新しく始めることは、今までに感じるができない新鮮な気持ちにもなることができ、脳の活性化や身体機能の維持にもつながると思えます。昨年はこの清掃活動を、10月と2月の年2回しか行うことができませんでしたが、利用者の要望もあり、今年は2か月に1回の年6回を目標に取り組んでいく予定です。その他にも、隣接している海の星保育園と年間を通して野菜の植え込みから収穫、食事会等も予定できたらと考えています。

春の季節は、1年で最も何かを始めやすい季節と言われています。皆様も何か新しいことを始められてはいかがでしょうか？

(前原)



地域の 清掃活動を 始めました

写真は10月と2月の道路清掃活動の様子（県道十四号線）です。利用者の方も積極的に参加され、「道路がきれいになると気持ちいい」や「地域の為に少しでも役立ててうれしい」といった言葉も聞かれ、皆様やりがいをもって参加されています。





非常災害時に備えた、炊き出し



3月28日に中庭で非常災害時に備えた炊き出しを行いました。そして、中庭で皆で頂きました。いざという時の為の非常持出袋も用意して本番さながらの訓練となりました。



芸術祭を見学に行きました



3月2日に聖母園俳句会のメンバーで、ドリームセンターで開催された芸術祭の見学に行ってきました。聖母園からは俳句の作品展となりました。会場には写真、生け花、水墨画等様々な作品が展示されており、感動の連続でした。



つみのほしつうしん

題字：牟田咲良くん(5歳)



ご進級・ご入園おめでとうございます。

保育園では4月4日に入園式が行われました。子供たちは、新しい名札をつけてもらい、お友達と嬉しそうに見せ合ったり、「先生～みてみて制服カッコイイでしょっ！」と初めての制服に心を弾ませながら、1つ大きくなった喜びを感じているようです。

園生活では進級児は給食のお当番活動や小さなお友達のお世話をしたり、新しいクラスでの活動に意欲的に取り組む姿が見られています。新入園児は新しい環境に戸惑いながら不安で泣く姿も見られていますが、好きな遊びを見つけて楽しんだり、お友達とお話をしたりする中で、笑顔も見られるようになっていきます。今年度も子供たちが、心身ともに健やかな成長ができますように、職員一同、頑張ってまいります。どうぞ宜しくお願い致します。



今年度は7名の
新入園児を迎えました！





感謝のお茶会



保育園では、毎年2月に保護者の皆さんをお招きして、お茶会を行っています。年長組になって始めた茶道の成果をみていただきました。ひとりひとりが前をきるようになった子もたくさんあり、緊張しながらも感謝の気持ちで「お一人一生懸命お茶を点て、お運びをし、最後まで頑張りましたよ」



新しい先生です。
よろしくお願いします。



久富陽子先生

4月から海の星保育園で勤務させていただいております久富陽子と申します。素晴らしい環境の中で明るく素敵な先生方に囲まれ、子どもたちの成長を感じられたり、元気いっぱい遊んでいる姿からパワーをもらい毎日を過ごすことを幸せに思っております。

子ども達が、「お友達大好き!」「先生大好き!」「保育園大好き!」と言ってくれるような保育士を目指します。思いやりの心、感謝する心を忘れず精一杯努めて参りたいと思います。





特別養護老人ホーム 聖母園

“元気な聖母園”



毎日、元気に体操を行っています。



洗濯物たたみ・野菜の皮むきなど
できることは何でも任せてください♪



「元気な聖母園」平成26年度の特
別養護老人ホームの目標です。
利用者様は自立支援の二環として、
洗濯物たたみ・食器拭き・野菜の皮
むきなど自分のできることには日頃か
ら積極的に取り組まれています。軽
作業のみでなく、園内散歩や学習療
法などにも取り組まれ、いつまでも
元気に過ごしていけるよう運動や学
習にも頑張っています。中でもラジ
オ体操は日課とし、今年も各職種の
職員が放送にてラジオ体操の呼びか
けを行い、利用者様と共に体力増進
に努めていきます。

軽作業や運動の活動に加え、創作
活動にも力を入れていきたいと思っ
ています。手芸が得意な方や折り紙
が得意な方など利用者様の得意とし
ている事を大切に、一緒に行ってい
くことで楽しみを持ち、毎日元氣
に過ごして頂きたいと思っています。

「元気な聖母園」という目標を達
成する為に様々な活動に力を入れ、
毎日の頑張り皆様にも見て頂くた
めに、目標の集大成として年度末に
は作品展も開催を予定していま
す。どうぞ、楽しみにして下さい。

(内田)



職員の腰痛予防体操の風景です。
職員も健康で元気な体を作り、
利用者様の支援をさせていただきます。



学習療法も毎日、
頑張っています。



創作活動に力を入れていきます。
どんな作品が出揃うのか楽しみです♪



第3回 特養家族会

平成26年3月2日に第3回家族会を開催しました。第1回では、日頃の暮らしの様子を知って頂く為にスライドショーを使用しての報告会、第2回では、御家族と利用者様との交流をより深めると同時に同じユニット内の御家族同士の交流の輪を広げることを目的として創作活動を通しての家族会を開催してきました。そして、今回の家族会では利用者様が生活している空間のみでなく、特別養護老人ホーム全体の事を知って頂きたいという思いを込めて園内ウォークラリーを実施しました。

各ユニット・事務所・看護室にゲームやクイズを準備しました。御家族と利用者様が一緒に協力してゲームに参加することで、各ユニット・各職種の職員とも顔を合わせ、特別養護老人ホーム全体を知って頂く良い機会になったのではないかと思います。ウォークラリーの様子を



事務所で漢字・ことわざクイズ



光・星ユニットでのじゃんけんゲーム

特養目標
“元気な聖母園”
を完成させました。



紹介したいと思います。

ウォークラリーで実施したゲームやクイズは、普段から利用者様が行っていることを主に題し、日頃、利用者様がどんなことに頑張っているのか御家族にも体験して頂きました。利用者様は、いつもより真剣にゲームに取り組まれると共に満面の笑みを浮かべる姿は御家族との温かいふれあいを楽しんでいるのが分かりました。

ウォークラリーの後には、御家族との意見交換会です。事前に協力して頂いたアンケートを基に御家族の声を聞かせて頂きました。この場で少しご紹介させて頂きます。

- いつも穏やかな対応をして頂いているようで感謝しています。
- 日常を丁寧に報告して頂けるのでありがたいです。
- 少ない人数での対応は大変だと思いますが、これからもよろしくお願ひします。
- ※今後のケアへの要望等
- 一部の職員の言葉遣いはずさんなように感じる。

●もう少し居室内の清掃や環境をきれいにしてほしい。

●起きた時に整容面をもう少しきれいにしてほしい。

●友愛、信愛、隣人愛、人間愛、人間力。

●お風呂は、ゆっくりと浴槽で入浴してほしい。

御家族からの声をしっかりと聞き、その声に応えていくことができるよう、より一層の努力を行っていきたいと思います。

家族会のみでなく、普段の面会時でもご要望などあれば、職員までお願い致します。

第4回はどんな家族会にしようかと考え中です。次回の家族会をお楽しみに！
(内田)



意見交換会の様子です。
たくさんの貴重なご意見、
ありがとうございました。



日本財団様 助成事業の完了報告とお礼

このたび、2013年度日本財団助成事業の助成金を受けて、福祉車両2台の整備が無事完了いたしました。ここに事業完了のご報告を申し上げますと共に、日本財団法人様をはじめ、ご協力を賜りました関係各位様に対し謹んで感謝の意を表します。

―記―
事業名：ヘルパー車の整備
車両名：ホンダライフ(2台)
完了年月日：2014年3月21日

3月13日福岡ソラリアプラザにて、福岡県では初めての福祉車両贈呈式が行われ、参加させていただきました。日本財団 笹川陽平会長様(写真中央)よりご挨拶があり、1994年より現在までの車両整備が3万台を超えたことや、今回より車両のデザインが一新され、世界的アパレルメーカーのユニテッドカラーズオブベネトンがボ



挨拶される笹川陽平会長様(於:ソラリアプラザ)

ランティアでデザインされ「福祉を身近なものに感じてほしい」「華やかな車を見て、なんだろう!と興味を持ってほしい」との願いが込められているとの事でした。最後には、「福祉に携わる方々や、頑張っている方々に何か手助けができないかと日々考えています。」と、私たちに力強いお言葉を頂き心より感謝いたしました。今回、助成して頂きましたヘルパー車2台で大刀洗町や地域を回ります。見かけた時は、ベネトンデザインの華やかな車がこれか!と思っただけであれば幸いです。

希望の丘 機能訓練士



特別養護老人ホーム聖母園

理学療法士 田村優子



平成25年10月より特養で勤務しています田村優子です。

理学療法士として経験は、10数年。老人福祉施設での勤務は今回初めてで、不安や戸惑いもありますが、優しい職員の皆様に助けられています。これまでの経験を活かして、少しでも貢献できるように、理学療法士として何が出来るのか日々考えているところです。どうぞ宜しくお願い致します。

デイサービスセンター 旅路の荘

理学療法士 久保山唯



平成26年2月より、デイサービスセンター旅路の荘で機能訓練士をさせていただきます。

以前は病院で理学療法士として勤務していましたが、新しいことへの挑戦で不安もありますが、利用者の方々がよりよい生活を送ることができるようサポートをしていきたいと思えます。どうぞ宜しくお願い致します。

希望の丘の機能訓練士とは?

歳を重ねていくと「足が思うように動かなくなる。」「すぐに忘れるようになってしまった。」などといった日常生活を営むのに必要な機能の減退を防止するための訓練を行う者を機能訓練士といいますが、私たちは、簡単な運動やリハビリを通じて、利用者同士のコミュニケーションが促進されたり、友達の輪が広がるという二次効果も考え『笑顔を発信できる場所』として地域の方たちとの触れ合いを大切にしていきたいです。

明日への福祉

我が家の人気者

聖母園ケアプランサービスクラス勤務

南 和成

長女・心遥 (こほる)



「大人(未来へ)遥)になっても心ある人でいてほしい」という願いをこめて「心遥」と命名しました。

予定日より約1ヶ月早く生まれ心配しましたが、親の心配をよそに、とても好奇心旺盛でやんちゃな娘に育っています。母親に似て



るのかな? と思ったら、トマト好きは父親譲りで、食事の時はいつも真っ先にトマトを頼張りま

す。この春には保育園に入園します。私の心配事は増えますが、当の本人はそんなことはどうでもい

聖母園グループホーム勤務

門井 沙耶香

長女・結粋美 (ゆきみ)



今年の五月にお姉ちゃんになる愛娘(結粋美)は、私の大きくなっ

「卵巣腫瘍」という女性器疾患が

聖母園ショートステイ勤務

千代田 尚悟

長男・尚樹 (なおき)



私たちのアイドル尚樹を紹介し



唸りながら毎日頑張っています。今後とも、息子共々よろしくお願



見つかかり、医師から「手術をしな

いと出産は厳しい」と言われまし

忘れず、子供達と一緒に笑顔で成長していきたくです!

茶会今春待つ心ひきたてて
 立春や空にしかめつ面の雲
 食卓の菜の花にいいほえみて
 巡回の検温つづく余寒かな
 冴返る寺の鐘の音凍りぬし
 梅の香にほころぶ笑顔ハイポーズ
 冴返る徒歩巡礼の道険し
 春の雨未だきびしく冷めたかり
 車窓開け磯の香入れて春の旅
 空の色人の声さへ春めきぬ
 農機具のエンジンかかり村の春
 黄水仙香りの高く部屋におく
 山間の光りがやくみかん畑

鳥羽 清治
 藤野 明美
 萩原 逸子
 池田 精蔵
 片山 スワ
 萩原美代子
 田中 葉子
 片山 スワ
 萩原アサエ
 萩原 逸子
 鬼塚 武
 森永 昇

〔三月聖母園俳句会〕

〔特選〕

餅を焼くそばを離れず待つ子かな
 大空にバルン浮かべて山笑ふ
 春めくや目標をまた確認す
 バラの芽の楽しみとなる庭仕事
 名を呼ばれ返事大きく卒業す
 春めきて手足のしびれ和らぎぬ

萩原アサエ
 片山 スワ
 萩原 逸子
 萩原美代子
 藤野 明美
 石橋 昭二

〔本選〕

桜花少しふくらみ開花待つ
 若麦の緑したたる野でありし
 雛まつり優雅な日本いつまでも
 散歩道それで土筆を摘むことに
 淡雪や舞うては消えし天主堂

鬼塚 武
 田中 葉子
 片山 スワ
 萩原アサエ



3月2日大刀洗町「芸術祭」にて

雛祭思ひそれぞれありにけり
 清らかに梅凜と咲く今年また
 春の山色を重ねてふんはりと
 この顔はあの娘に似てると雛飾る
 土筆摘むこともりハビリ楽しめる
 食すより手土産にして桜もち
 牡丹の芽赤く出初めし動き待つ
 木の芽風この勢ひに乗ってみよう
 留守番や話し相手のお雛様
 あたたかや夜勤の人に見守られ
 落椿散り放題のままであり
 古里の春は小川の風と音
 この頃は雪も降らぬといふ予報
 芍薬の芽を数へつつ庭仕事
 春の野のポカポカ陽気に誘はれて
 背振山苦笑ひして余寒かな
 春感じ活動参加の人も増え
 たんぱぼを残して庭の草むしり

萩原アサエ
 池田 精蔵
 片山 スワ
 萩原 逸子
 片山 スワ
 萩原 逸子
 萩原アサエ
 萩原 逸子
 萩原美代子
 斎藤賀壽子
 萩原美代子
 池田 精蔵
 藤川 渉
 萩原美代子
 鬼塚 武
 福田 博志
 前原 健輔
 藤野 明美

善意の「ご寄附・ご厚意、
 心より感謝致します。」
 (平成26年1月1日〜26年3月31日)

「ボランティア・交流会」

- ・モニカ会様
- ・ゆりの会様
- ・ビュートイーケア ほほえみ様
- ・平田 孝康様 (絵画クラブ)
- ・橋本 幸子様 (俳句会)
- ・大塚 京子様 (歌の会代表)
- ・幸せの会様
- ・小郡ふれあい仲間の会様

「御寄贈・ご招待」

- ・武田 文夫様
- ・藤野 悟様
- ・金ヶ江 久康様
- ・藤井 重利様
- ・中原 治様
- ・萩原 義信様
- ・橋本 哲男様
- ・江崎 茂文様
- ・重富 忠能様
- ・内田 真理子様
- ・平田 キヨノ様
- ・久次 等様
- ・平田 康雄様
- ・中村 順治様
- ・橋本 幸子様
- ・松岡 吉寛様
- ・長野 正明様
- ・平塚 ヒロ子様
- ・平田 昭良様
- ・實藤 量徳様
- ・橋本 あけみ様

「御寄付」

- ・モニカ会様
- ・鐘江 清子様





和気あいあいと楽しくできました。

活動あれこれ

聖母園グループホーム



聖母園グループホームでは、平成25年度より、小郡カトリック教会のボランティア『マルタの会』の方々に、行事のお手伝いや外出支援の御協力をいただいています。

まず初めに、養護老人ホーム、特別養護老人ホームの利用者様にも参加頂き、絶品『チーズケーキ』作りを行いました。7月には、今区のお年寄りグループホームの利用者様との



心躍る1日となりました。

交流を深めるためのソーマン流しにもご協力いただきました。

10月には、大牟田市動物園、11月は、大分の九酔溪や、長原、夢大吊り橋へのバスハイクに出かけました。バスハイクでの、紅葉や雪景色は、利用者様の心に楽しい思い出として、今でも残っています。

マルタの会の皆様のご支援に心より感謝申し上げます。

(森田)

行事予定

4月 八重桜の花見
藤の花見

5月 ポピーの花見
竹の子掘り

聖母行列

6月 ホタル狩り



※当機関誌「扉」に掲載している記事、写真は、本人またはご家族の了承を得ております。

※皆様の御意見・御感想をお待ちしております。ご感想をお寄せ下さい。※当法人は、規定に基づき情報開示を行っております。

連絡先

〒8301223 福岡県三井郡大刀洗町
今491番地
TEL 0942(77)0085
FAX 0942(77)2983
ホームページアドレス
<http://www2s.biglobe.ne.jp/~saiboer/>
電子メールアドレス
kibonooka@ky.biglobe.ne.jp

編集後記

平成26年度新入社員のタイプについて「職業のあり方研究会」が「自動ブレーキ型」とした。車もかつては野性的なパワーを競ったものだが、昨今はエコロジーと洗練された自動制御能力が必要。上の世代からすれば、失敗を恐れずに「あたったくだける」の精神が欲しいとの声もある。

これまでの日本企業は、基本的には、100%のパワーを会社につき込むことを当然のように働く人に要請してきた。しかし少子高齢社会の日本の現状と今後を考えると、20〜40代が仕事と子育ての両立で、50〜60代は仕事と介護の両立から逃れられない時代である。もう「仕事」と「何か」の両立が「働く」ことの大前提となる時代である。そこを転換できない企業は生き残れないとも言われている。

今後の法人の在り方をみても、指導育成の立場から、先を読む能力（高度センサー）を存分に活かし、多様性と機能性を合わせ持つ新社員に、時代に即した環境で運転できる逞しい社員に育てて欲しいと願う。

(鳥羽)